

1 浅間山における火山対策




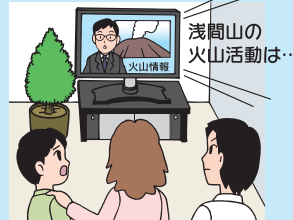
浅間山は、全国でも有数の活火山のひとつです。

ここ約10年の間では、中・小規模な噴火はあるものの、噴火を繰り返してきた時期（1900年頃から1970年代）と比較すれば静かな状況が続いています。（最新の噴火警戒レベルの情報は、町のホームページで確認してください）

いつ被害をもたらす噴火が起こるかわかりませんので、火山噴火に対する知識を深め、万一来てば備えましょう。

火山災害に備えて

浅間山の噴火警戒レベル

予報、警報の略称	対象範囲	レベル	キーワード	火山活動の状況	注意事項
噴火警報	居住地域 	5	避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	町、消防、警察の指示に従い、避難しましょう。
		4	避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される。 (可能性が高まっている)	町、消防、警察の指示に従い、いつでも避難できる準備をしましょう。
火口周辺警報	火口から居住地域付近まで 	3	入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口から4km以内に入ってはなりません。噴火が切迫している場合や4kmより遠くに噴石が飛ぶような噴火が発生した場合は、一時的に道路を規制することがあります。
	火口周辺 			2	火口周辺規制
噴火予報	火口内など 	1	平常	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる。	火口から500m以内に入ってはなりません。

●最新の噴火警戒レベルの情報は、町ホームページ「浅間山噴火予報・噴火警報」で確認してください。 <http://www.town.karuizawa.nagano.jp/>

もしも浅間山が噴火したら！

火山災害に備えて

火山灰 (降灰)

細かく砕けたマグマや岩石が空高く吹き上げられ、風に乗って広い地域に降ります。

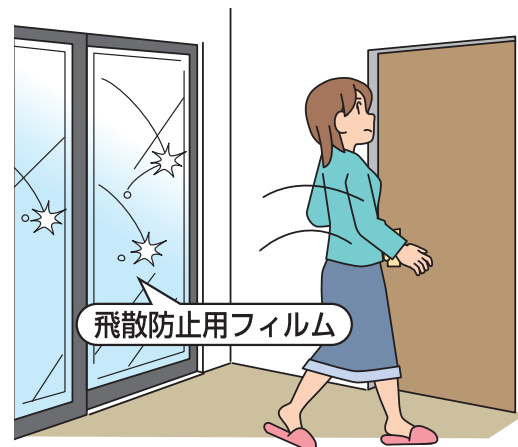
- 火山灰が舞っているときは、マスクやゴーグルを付けましょう。
- 洗濯物や窓の開け閉めに、注意しましょう。
- 火山灰が降り積もった地域では、路面等が滑りやすいので、車の運転に注意しましょう。



空振

噴火のときの爆発で、火口から発生する空気の振動(衝撃波)です。

- 火口から離れていても気象条件によっては、広範囲に影響が予想されます。
- 山側の窓ガラスから離れましょう。また、補強するなどの対策をしておきましょう。



融雪型 火山泥流

噴火により、火山灰、軽石などが高温で混ざり、山の斜面を流れ下る現象を「火砕流」といいます。

浅間山が山頂付近に雪が積もっている冬期間に中噴火をし、火砕流が発生した場合、この火砕流により、雪がとけ、土砂と一緒に高速で流れ下る現象を「融雪型火山泥流」といい、その速さは時速60kmに達し、約15分で別荘地や住宅地に到達するものとシミュレーションで示されています。

- 沢筋や低地などでは、より注意が必要です。
- 危険箇所を避け、泥流の流れに対し直角の方向に逃げましょう。
- 高い場所または丈夫な建物の2階以上に避難しましょう。

融雪型火山泥流の到達範囲及び到達時間等については、「浅間山融雪型火山泥流発生時想定マップ」をご覧ください。



降灰直前は…

- 灰が侵入しないようドアや窓を閉める。
- 湿らせたタオルをドアの隙間などに置き、窓の隙間にはテープを貼る。



降灰が起きたら…

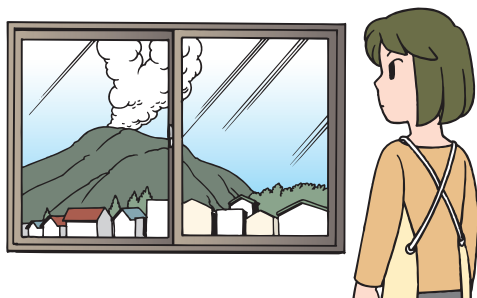
- 屋内で待機する。外にいる場合は、建物や車の中に避難し、テレビやラジオで情報を収集する。
- コンタクトレンズを外す。
- むやみに移動しない。



日ごろの火山噴火対策

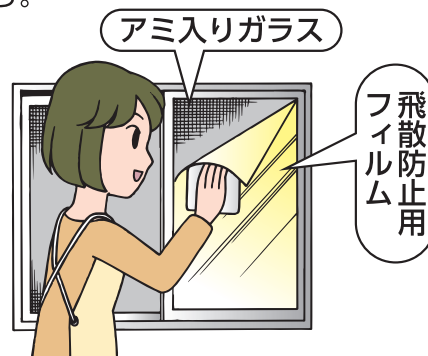
浅間山の煙を見る習慣をつける

- 「煙に色はついているか、量は増えているか」、「硫黄の臭いがしないか」などが目安となります。



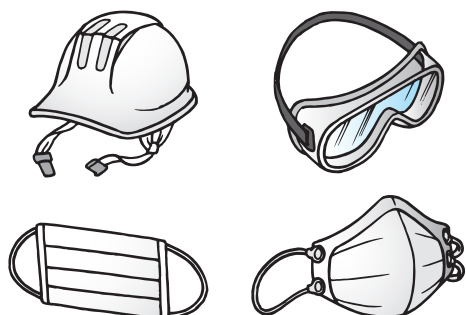
北側の窓を工夫する

- 空振でガラスが割れるおそれがあります。飛散防止用フィルムやアミ入りガラスを使用しましょう。



防災用品を準備する

- 避難の際は、マスクやゴーグルが効果的です。



火口周辺警報・噴火警報に注意する

- 防災行政無線やメール配信サービスなどの噴火に関する情報に注意しましょう。

